

自 己 評 価 票

【自己評価の意義・目的】

- 自己評価は、事業者自らが主体的にサービスの評価を行い、サービスの提供状況を見直すことによりサービスの質の向上を図るシステムの一つです。
- サービスの質の向上は、この自己評価をはじめ、事業者の取り組みを第三者の目で確認して評価を行う外部評価や、アンケート調査等による利用者からの声の反映、等が相まって実施されることにより、達成されるものです。
- この自己評価の結果を公表することにより、利用者にとっては、客観的な指標、判断材料として事業者の選択に役立つものとなります。

【自己評価の実施方法】

- 運営者（法人代表者等）の責任の下に、管理者が従業者と協議しながら実施してください。
- 「評価項目」ごとに評価をしてください
- その判断した理由や、根拠のポイントを記入してください。
- 少なくとも年に1回は、自己評価を実施してください。
- 優れている点や、改善すべき点等の特記事項についても、別途（任意様式）を作成してください。
- 改善すべき事項については、改善のための計画（任意様式）を作成してください。
- 利用者やその家族等が今後、サービスを受けようとする時の情報として、この評価結果を利用できるように利用申込書、又は、その家族に交付する重要事項証明書に添付の上、説明するとともに、事業所内の見やすい場所に掲示するなどして評価結果を積極的に公表してください。
- 評価結果及び記録等は、評価を完了した日から3年間は保存してください。

地域密着型サービスの自己評価項目の構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| I 理念に基づく運営 | 22 |
| 1 理念の共有 | 3 |
| 2 地域との支えあい | 3 |
| 3 理念を実践するための制度の理解と活用 | 5 |
| 4 理念を実践するための体制 | 7 |
| 5 人材の育成と支援 | 4 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 10 |
| 1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 4 |
| 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援 | 6 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 17 |
| 1 一人ひとりの把握 | 3 |
| 2 本人が、より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3 |
| 3 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4 本人が、より良く暮らし続けるための、地域資源との協働 | 10 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 38 |
| 1 その人らしい暮らしの支援 | 30 |
| 2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 8 |
| V サービスの成果に関する項目 | 13 |
| 合計 | 100 |

| | |
|----------|-------------------------|
| 記入年月日 | 平成 19 年 11 月 14 日 |
| 法人名 | 有限会社 ハ ル |
| 代表者名 | 取締役 中野 裕 勝 |
| 事業所番号 | 2 7 7 2 4 0 1 9 5 2 |
| サービスの種類 | 認知症対応型共同生活介護 |
| 事業所の名称 | グループホーム はる |
| 所在地 | 枚方市船橋本町二丁目85番地の7 |
| 記入者名 | 管理者 東 和 代 |
| 電話番号 | 0 7 2 - 8 5 6 - 3 0 2 1 |
| F A X 番号 | 0 7 2 - 8 5 1 - 2 1 2 1 |

自己評価票

(部分は外部評価との共通項目)

↑ 取り組んでいきたい項目

| 項 | 目 | 取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容） | ○ 印 | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|---|--|--------|---|
| I 理念に基づく運営 | | | | |
| 1 理念と共有 | | | | |
| 1 | ○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「心のバリアフリーをめざして」を理念に認知性を持つ特性を理解し、運営方針としている。 | | |
| 2 | ○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 施設内に理念を掲示している。 | | |
| 3 | ○ 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 家族には「はるだより」を送付している。 | | |
| 4 | ○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的な、つきあいができるように努めている | ホームの2階を開放して、気軽に立ち寄ってもらえる様に努めている。 | ○ | ボランティアの受け入れは出来ているので、ホームの行事などご近所の参加も呼びかけが出来たらと思う。 |
| 5 | ○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会行事への参加にて交流に努めている。 | ○ | 地域の幼稚園・学校との交流も考えて行きたい。 |
| 6 | ○ 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 職員が地域活動への参加・お手伝いに心がけ参加している。 | | |
| 3 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | ○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 月1～2回のミーティングを行い理解を深め、改善に取り組んでいる。 | | |
| 8 | ○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | | ○ | 運営推進会議では自治会長さんや、地域包括支援センター所長に当ホームの状況を話し、意見や情報を頂く。 |
| 9 | ○ 市町村との連携 事業所は市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり市町村と共にサービスの質の向上に取り組んでいる | 市役所の窓口、在宅支援事業所・老健・病院などにパンフレット持参、説明を行っている。 | | |
| 10 | ○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には、それらを活用できるよう支援している | 一部職員の学習に止まっている。 | ○ | 全職員は正しい知識を持つため学習していく。 |

(部分は外部評価との共通項目)

取り組んでいきたい項目

| | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|---|--------|--|
| 11 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 理念に基づいて支援を目指し、職員に絶対あつてはならない事を周知徹底している。 | ○ | 職員の意識を高める為に学習会を行う。 |
| 4 理念を実践するための体制 | | | | |
| 12 | ○契約に関する説明と、納得 契約を結んだり、解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い、理解・納得を得ている | 重要説明書に記載し入居前、退居時には充分説明を行い、理解して頂けるように努めている。 | | |
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 月1回の相談員の訪問があり、入居者と過ごして、聴き取りをされている。 | | |
| 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的、及び、個々にあわせた報告をしている | ご家族の来所時は、入居者の心身の状況や日頃の様子を伝えている。面会の少ない方には電話で連絡をしている。 | | 毎月「はるだより」を送付。個別にコメント・行事予定・報告・医療機関利用予定などお知らせしている。 |
| 15 | ○運営に関する家族等、意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 面会時に必要に応じて時間を取り、話をさせてもらい、家族とのコミュニケーションを取るようにしている。 | | |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 月1～2回のスタッフ会議を行い、職員の意見、考えを出し合い、業務改善に取り組む様に努めている。 | | |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや、勤務の調整に努めている | その時のホームの状況に応じて、出来る限りの対応に努めている。 | | |
| 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者のダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の勤務に無理のないように配慮している。 | | |
| 5 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員が公平に研修を受け、課題に取り組める様に努めている。 | | |
| 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他のホームとの交流を行い、情報交換している。 | | |

(部分は外部評価との共通項目)

取り組んでいきたい項目

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|--------|----------------------------------|
| 21 | ○ 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や、環境づくりに取り組んでいる | ○ | 職員の親睦を図るようにして行きたい。 |
| 22 | ○ 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | ○ | 職員研修や職員の個別面談なども行って行きたい。 |

II 安心と信頼に向けた関係づくりと、支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

| | | | |
|----|---|---|---|
| 23 | ○ 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに、本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を、本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。 | | 家族からの相談を受けた場合は、面談・聴き取りを行い、本人の見学を勧める。 |
| 24 | ○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等を、よく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | | 電話や訪問による相談は、随時対応している。 |
| 25 | ○ 初期対応の見極めと、支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含め対応に努めている | | ケアマネジャーから情報提供を行いサービスの必要支援を考えていく様に努めている。 |
| 26 | ○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ○ | 家族、本人の気持ちを一番に考えてサービス提供を考えていきたい。 |

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

| | | | |
|----|---|---|--|
| 27 | ○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり支えあう関係を築いている | ○ | ご本人の思いを受け止める。 |
| 28 | ○ 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | | コミュニケーションを大事にしていきたい。 |
| 29 | ○ 本人と家族の、よりよい関係に向けた支援 これまでの本人と、家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | | 月1回は来所していただいて、一緒に過ごしていただけるように、はたらきかけている。 |
| 30 | ○ 馴染みの人や場との、関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている | | お手紙などはご本人に渡し、読んでもらい、連絡があったときは伝える様にしている。 |

(部分は外部評価との共通項目)

取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|--------|----------------------------------|
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | | |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用 (契約) が終了しても継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | | |

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

| | | | |
|--------------------------|--|---|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の生活の中での言動や感情、表情などをしっかり受け止め、判断する様に努めている。 | |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人の生活歴、思いを聴き取り家族の情報も頂いている。 | |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 体操、散歩、創作活動、家事などを日課に取り入れ、出来る力を把握している。 | ○ 本人の個性を生かし、穏やかに落ち着いて過ごせる様に努めていきたい。 |

2 本人が、より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

| | | | |
|--------------------------|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人の要望、気持ちを職員が把握し、家族が来所時に伝え、家族の意見を聞き取り作成している。 | |
| <input type="checkbox"/> | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | モニタリングを行い、状況変化に応じ、随時見直しを行って、家族来所時に、職員より説明を行った上、計画変更をしている。 | |
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 記録、チェックシートなどを作成し、介護計画の見直しに活かしている。 | |

3 多機能性を活かした柔軟な支援

| | | | |
|--------------------------|---|-------------------------|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 出来るかぎり要望に沿えるように努めていきたい。 | ○ 家族、ご本人の状況を把握した上で支援に努めたい。 |
|--------------------------|---|-------------------------|----------------------------|

4 本人がよりよく暮らし続けるための地域資源との協働

| | | | |
|----|---|--|--|
| 40 | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化、教育機関等と、協力しながら支援している | 町内会行事に参加し、消防署の避難訓練を年に1回実施している。警察にも届け出をしている。お話、演奏のボランティアの受け入れ、又、中学校福祉体験の受け入れを行っている。 | |
|----|---|--|--|

(部分は外部評価との共通項目)

取り組んでいきたい項目

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|--|---|
| 41 | ○ 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 神経内科デイサービス利用の方の支援を行っている。 | |
| 42 | ○ 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議にて、地域包括支援センターの所長に協力頂いてる。 | |
| 43 | ○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 総合病院を協力医療機関としている。定期往診も行い、歯科も受診できない人には往診を行っている。家族には医療機関の指定病院があるのかを、確認し上で、受診している | |
| 44 | ○ 認知症の専門医等の受診支援 専門医等、認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり利用者が認知症に関する診断や、治療を受けられるよう支援している | 医療機関と連携を密にしている。 | |
| 45 | ○ 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員、あるいは地域の看護職と、気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 往診時は看護師が同席し報告、相談を行っている。看護職員が週1日勤務している。随時連絡をとれるようにしている。 | |
| 46 | ○ 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院に至るまでの心身の状況の変化を踏まえて、家族と事前に意思確認を行っている。 | |
| 47 | ○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と、繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 主治医、家族、ホーム側とでのカンファレンスを行い、今後の方針を決める。延命治療に関しての家族の希望は事前に記入して同意書を頂いている。 | |
| 48 | ○ 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が、日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともに、チームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて、検討や準備を行っている | 医療機関との連携をはかり、カンファレンスを行い、出来る限り家族の納得して頂いたうえで、決めるように努めている。 | ○ 終末期の医療ケアについては、十分に検討を重ねて、対応を行っていきたいと考えている。 |
| 49 | ○ 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で、十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 家族との話し合いを行い、本人の状況説明を行う。 | |

(部分は外部評価との共通項目)

取り組んでいきたい項目

| 項 目 | 取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容） | ○ 印 | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|-----------------------------|--------|----------------------------------|
|-----|-----------------------------|--------|----------------------------------|

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

| | | | | |
|----|--|---|--|--|
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りや、プライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 記録、書類は大切に保管、管理している。 | | |
| 51 | ○利用者の希望の表出や、自己決定の支援 本人が、思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり、納得しながら暮らせるように支援している | 本人の気持ちを大切にし、無理強いをしないで、持っている力を出せる状況を作り、支援出来る様に努めている。 | | |
| 52 | ○日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや、都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の状況に合わせて、本人のペースで過ごせるように努めている。 | | |

(2) その人らしい暮らしを続けるための、基本的な生活の支援

| | | | | |
|----|--|--|--|--|
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみや、おしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | ご近所の美容室に出かけ、個々に合ったカットを行っている。又、居間の鏡で整容を支援している。 | | |
| 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食時が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 野菜の皮むきや、味噌汁作りなどを行っている。またティータイム後のお皿、コップ洗いも行っている。 | | |
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを、一人ひとりの状況に合わせて、日常的に楽しめるよう支援している | 希望を聞き、出来るだけそれに答えられる様に努めている。 | | |
| 56 | ○気持よい排泄の支援 排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人一人の力や排泄のパターン習慣を活かして、気持ちよく排泄できるように支援している | 入居者の状態に合わせ、排泄チェックリストを作成し、排泄パターンを把握して声掛け、誘導することで、排泄の自立に向けて支援している。 | | |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を、職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入居者の実情に応じ、原則として現在は、週2回午前中全員入浴になっている。また銭湯利用している方もいる。(週1回) | | |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり、眠れるよう支援している | 照明や物音に気をつけ、静かなひと時が過ごせるように努めている。 | | |

(3) その人らしい暮らしを続けるための、社会的な生活の支援

| | | | | |
|----|--|---|--|--|
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや、喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 出来るだけ好きな事、得意な事を楽しんでもらい、精神安定を図るように努めている。 | | |
|----|--|---|--|--|

(部分は外部評価との共通項目)

取り組んでいきたい項目

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|-----|-------------------------------|
| 60 | ○ お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している | | |
| 61 | ○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | | |
| 62 | ○ 普段、行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい、普段は行けないところに、個別あるいは、他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | | |
| 63 | ○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように、支援している | | |
| 64 | ○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している | | |

(4) 安心と安全を支える支援

| | | | |
|----|--|--|------------------------------|
| 65 | ○ 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | | |
| 66 | ○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | | |
| 67 | ○ 利用者の安全確認 職員は、本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜、通して利用者の存在や、様子を把握し、安全に配慮している | | |
| 68 | ○ 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を、一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | | |
| 69 | ○ 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | | |
| 70 | ○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や、初期対応の訓練を定期的に行っている | | ○ 定期的に訓練は出来ていないので、行える様にしたたい。 |

(部分は外部評価との共通項目)

取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実(実施している内容・実施していない内容) | ○印 | 取り組んでいきたい内容(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|----|------------------------------|
| 71 | <p>○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | | |
| 72 | <p>○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> | | |

(5) その人らしい暮らしを続けるための、健康面の支援

| | | | |
|----|---|--|--|
| 73 | <p>○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や、異変の発見に努め、気付いた際には、速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> | | |
| 74 | <p>○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や、副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | | |
| 75 | <p>○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や、身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> | | |
| 76 | <p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや、臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、力に応じた支援をしている</p> | | |
| 77 | <p>○栄養摂取や、水分確保の支援 食べる量や、栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | | |
| 78 | <p>○感染症予防 感染症に対する予防や、対応の取り組みがあり、実行している (インフルエンザ、麻疹、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p> | | |
| 79 | <p>○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p> | | |

2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

| | | | |
|----|--|--|--|
| 80 | <p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p> | | |
|----|--|--|--|

(部分は外部評価との共通項目)

取り組んでいきたい項目

| 項 | 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|--|--------|-------------------------------|
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 壁には季節感のある壁紙を作り貼り付けたり、手作りの表札を掛けている。今までの使用していた家具を利用するなど、家庭的な雰囲気を作っている。 | ○ | |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共有の居間兼食堂は空間がないが、ソファを置き、利用者が気軽にくつろげる様にしている。 | ○ | 共有の空間に関しては、今後、改善していく計画を立てている。 |
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節ごとに衣類を入れ替えしている。使い慣れた家具を置いたり、仏壇を置いてる方もいる。家族要望にて、危険性のない物は置いている。 | ○ | |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや、空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し利用者の状況に応じて、こまめに行っている | 職員が冷暖房機で調節を行う。午前中の掃除時間には、窓を開け換気をしている。又1階と2階に温度計を設置。 | ○ | |

(2) 本人の力の発揮と、安全を支える環境づくり

| | | | | |
|----|---|--|---|------------------------|
| 85 | ○身体機能を活かした、安全な環境づくり 建物内部は、一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように、工夫している | 洗面所、浴室、トイレ、廊下に手すりを付けている。 | ○ | 今後改善の必要性に応じ検討していきたい。 |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりの、わかる力を活かして混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 個人の物には全て名前を記入している。 | ○ | |
| 87 | ○建物の外廻りや、空間の活用 建物の外廻りや、ベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 玄関周りに草花のプランターを置き、隣接の自然公園にベンチを置き、梅、桃などの木を植えている。 | ○ | 安全性を考え、今後改善が必要などころもある。 |

| V サービスの成果に関する項目 | | | |
|-----------------|--|----------------------|--|
| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | ① ほぼすべての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで、生き生きした表情や、姿が見られる | ○ | ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ | ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で、不安なく過ごせている | ○ | ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることを、よく聴いており、信頼関係ができています。 | ○ | ① ほぼすべての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場や、グループホームに馴染みの人や、地域の人々が訪ねて来ている | ○ | ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが、広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | ① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う | ○ | ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等は、サービスにおおむね満足していると思う | ○ | ① ほぼ全ての家族が ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点や、アピールしたい点を記入してください。)

家族的雰囲気を中心に、ご本人の個性を活かしながら支援を行い、日々喜怒哀楽が出せる安心した自分の居場所に感じてもらえるように努めています。また地域、自治会との交流、ボランティアの受け入れは積極的に行っています。季節を感じ、いつまでも心穏やかに健康でいてもらいたいと願いながら介護させて頂いています。